

平成 27 年 4 月 9 日

「道徳性・向社会性」分科会 平成 26 年度活動報告

「道徳性・向社会性」分科会代表

横浜市立大学 長谷川真里

**活動報告**

日本発達心理学会第 26 回大会にて分科会企画ラウンドテーブル「公正判断研究の最前線」を開催した。

日時：平成 27 年 3 月 21 日（土） 会場：東京大学

公正判断の研究は、道徳性の発達の研究において最も初期から検討されてきた課題である。本ラウンドテーブルでは、この古くて新しい、そして最も重要なテーマのひとつでもある公正判断研究が、現在どのような発展をみせているのかを考えるために、最新の知見を共有し、フロア全体で議論した。

話題提供および指定討論は、以下の通りであった。（敬称略）

- (1) 幼児期の報酬分配と責任分配における公正判断の発達について  
橋本祐子（関西学院大学） 戸田有一（大阪教育大学）
- (2) 児童期の民主的思考の意識調査から教育プログラムへの示唆 樟本千里（岡山県立大学）
- (3) 5 歳児の報酬分配における公正判断の処理過程について 津々清美（美作大学）
- (4) 指定討論：渡辺弥生（法政大学）
- (5) 司会：長谷川真里（横浜市立大学）